

輸送動向について(8月分)

平成21年9月

1. 輸送概況

今月は、中旬に台風9号の接近に伴う大雨による輸送障害が発生したほか、静岡沖を震源とする地震の影響により、月全体では高速貨92本、専貨2本が運休した。

荷動きについては、景気悪化に伴い製造業の生産調整が継続したほか、月の前半は不順な天候の影響を受け、季節物資の輸送が低迷した。さらに自然災害による輸送障害の影響もあり、前月と比較して改善はしたものの、月間を通し低調に推移した。

コンテナ貨物は、自動車部品、紙・パルプ、食料工業品などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比86.6%となった。食料工業品は天候不順の影響を受け清涼飲料水が大きく減送となった。なお、自動車部品は生産調整が継続していることから減送となっているものの、前月と比較して一部に改善が見られた。

車扱貨物は、セメント・石灰石などが前年を下回ったものの、石油が前年を上回り、全体では前年比106.9%となった。石油は、昨年価格が高騰し消費が大幅に減少した反動に加え、特に揮発油については高速道路通行料金のETC割引が拡大され、お盆期間前後に需要が増加したことにより、大きく増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,563	1,805	86.6%	8,041	9,573	84.0%
車扱	834	780	106.9%	3,894	4,228	92.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	154	180	-26	85.6%
	化学工業品	148	168	-20	88.1%
	化学薬品	110	125	-15	88.0%
	食料工業品	255	282	-27	90.4%
	紙・パルプ	252	302	-50	83.4%
	他工業品	108	131	-23	82.4%
	積合せ貨物	169	185	-16	91.4%
	自動車部品	46	59	-13	78.0%
	家電・情報機器	30	33	-3	90.9%
	エコ関連物資	28	29	-1	96.6%
	その他	263	313	-50	84.0%
	コンテナ計	1,563	1,805	-242	86.6%
車扱	石油	500	446	54	112.2%
	セメント・石灰石	144	145	-1	99.2%
	車両	70	76	-6	91.8%
	その他	120	113	7	106.3%
	車扱計	834	780	54	106.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)